

山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

センターだより第158号(通巻第225号)

2018年1月29日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

■ 山梨大学教育学部附属幼稚園 2017年度ソニー幼児教育支援プログラム優秀園に選ばれました！！

このプログラムは、ソニー教育財団が主催し、子どもたちの豊かな感性、主体性、創造性の芽生え、思いやりの心などを育む様々なアプローチの中で、「科学する心」に焦点を絞り、より良い保育実践に取り組んでいる全国の幼稚園・保育所・認定こども園から、「科学する心を育てる」ために子どもの発想や保育者の熱意を活かし、子どもの姿を中心にした独自性のある実践と計画をまとめた論文を募集し、優れた実践等を行っている団体を表彰・支援しているものです。

附属幼稚園では、日々の実践の中から年長児の学びを捉え、加藤繁美園長の指導の下、荻原ひろみ副園長を中心に、テーマ「育ちの物語から『科学する心』を考える～一人一人の育ちを大切にしたいかかわりから～」をテーマとする実践論文にまとめ昨年9月に応募しました。その後、11月に財団の方4名による現地調査がありました。（このプログラムは、論文の内容に加え、幼稚園の実践内容、保護者の皆様と共に園としてどのような取り組みをしているのかも審査の対象になっています。）

審査の結果、最優秀園に次ぐ優秀園に選ばれました。（昨年12月21日に入賞の連絡が入り、表彰式が1月20日に行われ、園代表・保護者代表・研究代表の3名が出席しました）

論文は、年長児の「ゴジラの種」（大玉レタスの種）を育てようとしていく姿とそこにかかわる子どもの3年間の育ちの姿の関連をまとめたものです。荻原副園長は、「このように子どもとの活動をまとめてみて、子どもたちの豊かな発想や探究心のすばらしさを改めて感じた。」と話していました。

この受賞は、山梨の幼児教育をリードするパイロット的幼稚園としての山梨大学教育学部附属幼稚園のこれまでの教育研究・実践が、全国レベルの高い優れたものであることを示しています。今後のさらなる研究・実践の推進・成果の発信が、本県幼児教育の充実に大きく寄与するものと期待されるようです。



(ソニー盛田会長と表彰式出席者)

■ 第30回教育フォーラムの開催報告

山梨県教育委員会と山梨大学教育学部との連携協力に関する覚書の締結や実践センターの改組等を受けて、今年度は教育学部主催「教育フォーラム」を年2回開催（山梨県教育委員会との共催）することになりました。教育フォーラムは、教員が教育現場で直面する課題や関心に基づいたテーマについて議

論することを目的としています。今年度1回目となる「第30回教育フォーラム」は、平成29年12月14日(木)、「特別な支援を要する子どもたちのための教育実践」をテーマに、山梨県立図書館で開催されました。県内の幼・小・中・高等学校や特別支援学校教員、学生や卒業生、本学教員、教育関係者、一般の方々など、約170名の参加がありました。

今回のフォーラムは、コーディネーターに山梨大学教育学部教育学系長の廣瀬信雄氏、パネリストに教育学部准教授の吉井勘人氏、聖愛幼稚園長の鈴木信行氏、同園主幹教諭・特別支援コーディネーターの萩原直子氏、甲府市立池田小学校長の土肥満氏をお迎えし、幼・小・中・高等学校を通して行われている特別支援教育の現状と課題を探り、あるべき方向性、教育や保育上の手立て、大人が持つべき視点について追究しました。

吉井氏からは「インクルーシブ教育の推進と課題～多様な子どもへのよりよい支援を目指して～」と題し、現代の特別支援教育の方向と考え方について基調となる提案が行われました。鈴木氏は私立幼稚園の立場から障害児保育の現状と課題を明示し、萩原氏からは実践内容と考え方・工夫について報告がありました。さらに土肥氏は「特別な支援を要する子どもたちの教育実践～教育のユニバーサルデザイン化に向けて～」と題して自身の経験と実践例を示し「特別支援教育を教育の本流に」と述べました。

その後、フォーラム参加者との議論を行い、多様な子どもたちを包み込む教育の時代における特別支援教育の役割、教える側や周囲の子どもたちが持つべき「心構え」などについて理解を深め、共有できる、有意義な教育フォーラムとなりました。

次回の第31回教育フォーラムは「教師の意欲変容を促す方法と実践－OPPシートの検討をもとに－」と題して、平成30年2月21日(水)17:30から、山梨県立図書館2階多目的ホールにて開催いたします。詳細については大学ホームページやポスター等をご覧ください。

(本稿は、山梨大学ホームページ、トピックス2017年12月25日号、「教育学部主催第30回教育フォーラム「特別な支援を要する子どもたちのための教育実践」を開催」<https://www.yamanashi.ac.jp/11417>より転載し、加筆修正を行いました。)



■ 平成30年度教員採用予定者等を対象とした「初任者元気アップ講座」の御案内(再掲)

前号でも御案内させていただきましたが、来る2月19日(月)15:00から、山梨大学教師塾プログラム事業の一環として、『初任者元気アップ講座』を開催いたします。

昨年度の参加者からは、

『比較的短い時間での3人の発表という形式であり、集中も続きよかった。』

『先生たちが自身の体験をもとにお話してくださったので、学校現場ではどのようなことが大切なのか、どんな点に留意すればよいのか具体的にイメージすることができた。』

『教師として、社会人として、生の声を伺うことができ、2年後に社会に出る身としてとても勉

強になった。』

『教員をめざす私は、ここ最近の学校情報にひどく不安になっており、今日、この講座でお話を伺えたことで、先生という職業に改めて希望を持つことができました。』
という感想を寄せてくださいました。

平成30年度に教員として教壇に立つ予定の学生や将来教員を希望している学生の皆さんは、教育現場に対して、不安と期待が入り交じっているかと思いますが、是非仲間とともに参加して、現場の生の声を聞いてみませんか。

詳しくは、以下を御覧ください。

◇期日 平成30年2月19日(月)

15:00~16:40(受付は14:45~)

◇場所 N号館3階 模擬授業室

◇対象 教員採用試験に合格している学生(4年生や院生)
将来、教員を希望している学生(学年問わず)

◇内容 ①現職教員による講座

- ・甲府市立玉諸小学校 主幹教諭 藤原裕一先生
- ・甲府市立南中学校 主幹教諭 萩原喜成先生

②現職学校管理職による講話

- ・甲府市立朝日小学校 校長 高村晴夫先生

③何でもQ&A

◇募集 先着30名(定員になり次第しめきります)

◇申込 J号館4階実践センター事務室にて受付中

メールでも可 jissen@ml.yamanashi.ac.jp

(学籍番号, コース・系, 氏名, 採用校種と教科を記載)



(昨年度の「初任者元気アップ講座」の様子)

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。